

議場のあり方に係る 調査特別委員会報告

(伊地知 厚仁委員長)

第1回 3月23日開催

曾於市議会第1回定例会において、庁舎整備事業による増築庁舎に設置される議場兼市民広場の使用か、現議場の使用か、今後の議場のあり方を調査することを目的とし、議長を除く全議員で構成され設置された。

第2回 4月10日開催

支所再編計画、執行部による他市町の研修内容、現議場と移転した場合の兼用議場の活用方法と比較について質疑し、説明がなされた。

第3回 4月24日開催

増築庁舎建設地の現地調査と現議場の傍聴席の段差確認などを調査し、前回の委員会で請求した資料に基づいて、執行部の説明を求めた。



増築庁舎建設地の現地調査

第4回 5月21日開催

前回の委員会で資料請求した現在の会議室の利用率、増築庁舎の市民広場やその他会議室の利用計画について説明を求めた。

また、これまでの委員会を踏まえ、委員一人ひとりの考え方や意見を述べ、その中で、現庁舎の耐用年数、現議場の改修費用、議場のみ移転することによる議会機能の分散など多岐にわたる意見があった。

第5回 5月29日開催

各会派の意見は次のとおりである。

そお幸喜会

今の議場では傍聴席など有事の際の避難が難しいことや近くに男女別のトイレがないこと、議場内に段差があるなど諸々の問題がある。これを増築庁舎に移転すれば全てクリアできる。新しい議場に移転すべきである。

日本共産党

現議場のバリアフリー化を行った方がよいとの結論である。

創政会

現議場の改修で対応することでは十分である。

無所属自由クラブ

少ない予算で現議場を維持していけばよい。また、市民広場は計画どおり進めていくことが必要である。

誠和会

現議場を使いながら最低限の整備を行うことで対応すべき。

新生会

同じフロアに事務局もあり利便性が良いので、現

議場を使った方がよい。また、老朽化した音響・放送設備等の改修を優先すべきである。



現議場の調査

以上、各委員、各会派の意見を集約し、本委員会としては、現議場を今後も利用していくとの結論に達した。